

第25回 日本キングス・ガーデン連合研修会 開会礼拝 理事長挨拶

第25回日本キングス・ガーデン連合研修会を、キングス・ガーデン発祥の地、筑波において開催します。私たちは「主に仕えるように高齢者に仕える(マタイ25:40)」ことを理念とし、全国にその奉仕の働きを展開し、現在80近くの関連施設があり、職員は入居者や、利用者の皆様に寄り添いながら、愛に溢れた介護を行っています。

今年度は「あふれる生命・輝く現在」をテーマとし、基調講演や分科会、交流会等を通して、お互いの学びと交わりを深めたいと願っています。

また来年4月施行を間近に控えた「社会福祉法人制度改革への対応」や今日的な課題である「地域における公益的な取り組みの実践」も視野に入れながら、お互い日々の取り組みを見つめ直す良い機会になれば幸いです。

最後に一つお知らせしたいことがあります。東京のお茶の水クリスチャンセンター5階にある日本キングス・ガーデン連合の事務所についてですが、この10月初旬をもって閉鎖させていただくことになりました。それに伴い、日本キングス・ガーデン連合の事務局を、キングス・ガーデン発祥の地である、この筑波キングス・ガーデン内に置くこととさせていただきますので、ご理解の上、ご了承ください。詳しくはまた改めてご案内させていただきます。

今後とも、さらに入居者や利用者の皆様と共に生き、「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣く」介護に励みましょう。

社会福祉法人日本キングス・ガーデン 理事長 泉田 昭



開会祈禱 小此木正司師



開会挨拶 藤原裕也



来賓挨拶 三谷六郎様



基調講演 「与えられた場所で輝く」

社会福祉法人日本キングス・ガーデン
理事長代理兼総合施設長 宇都宮和子

1. 幼児教育から高齢者へ

- ・子供にはない病気が高齢になると大きく出てくることを知る。
- ・認知症という病気
「どちら様ですか」今を忘れる母。同じことを何度も繰り返えし、食べたことを忘れてしまう人。又便を食べるお年寄りに出会い衝撃を受ける
- ・祈れる場所で働きたい
 - ・Kさんとの出会いは、例えどのような状況にあっても最後に残るのは信仰であり祈りであることを教えられる。「神は愛なり」
「最も小さきものの一人にしたのはすなわち私にしたのです」

2. 筑波キングス・ガーデンに導かれて「一緒に働いていただけませんか。」

- ・希望通り介護職員ヘルパーとして働く
- ・全員クリスチャンという恵まれた環境の中でも職種間のトラブル（ナース・ヘルパー・厨房）が現れる。理念を頭で理解していても、行動となったとき、個々の受け止め方の違いに気づく。又個性も表れ、10の中で4だけでも許す心があれば……。チームワークの重要性と理念の共有を教えられる。
- ・素敵にご利用者さんとの出会いと祈りは心の平安になる。
信州信濃の新蕎麦よりも、わたしゃあんたの側がいい

3. 介護職から施設長へ（措置から契約の介護保険制度スタート）

- ・スタッフの強い祈りに支えられて、施設長となる
- ・日々の記録と家族の架け橋「ほほえみ」機関誌の発行
- ・夜間講座スタート（介護福祉士・介護職員初任者研修・介護支援専門員）

4. 看取り介護、認知症ケアに取り組む

- ・ケアは手と心。手のぬくもり、マッサージが痛みを和らげる。
「自分は病気を診る医者でなくて、病人を診る医者になりたい」
「私が来たのは正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」



5. 高齢者から障がい者ケアへ

- ・障がい者Yさんとの出会いは、高齢者と障がい者が共に歩む優しさに触れる。数年後、障がい者施設運営の依頼を受けたとき、その時の光景が心に浮かび、「出来るかもしれない」という思いになる。
- ・「障害を見ないで僕を見て！」
- ・「あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」